

多様な人材の育成と活用

2030年 目標

多様な従業員が活躍できるための仕組み・職場作り

変化が激しい事業環境の中で、常に成長事業を創出・育成し、グローバルな展開を加速していくためには、それを支える人材の育成と多様な人材が能力を最大限に発揮できる環境づくりが重要です。富士フィルムグループは、社会の変化に対応し、自らイノベーションを起こすことのできるグローバルな人材の育成を推進するため、グループ全体を通じたワールドワイドな視点での人材の発掘、育成、登用できる仕組みづくり、研修を行っています。また、人種、民族、国籍、性別、年齢、障がい等の違いを生かし、多様な社員一人ひとりが能力を発揮できる組織風土の醸成に取り組んでいます。

2018年度 の活動

【目標】主要ポジションにおける外国人比率の向上

- 海外現地法人の基幹ポストを特定し、育成プログラムを通じた後継者育成を開始 (FF)
- ワールドワイドな人材の最適配置・活用を目指し、欧州・北米・中国・アジアパシフィックの人事担当者との連携・議論を強化 (FF)



WSIの一環として働きやすい場づくりも実施

【目標】女性役職者比率のさらなる向上

- 女性管理職数⇒2011年の3.4%から2018年度は7.6%まで増加 (FX)

【目標】法定以上の障がい者雇用の維持拡大と定着率の向上

- 2019年6月時点の障がい者雇用率2.35% (FHを事業主とするグループ算定特例による)
- グループ企業との連携による障がい者雇用の促進 (障がい者の集合職場の構築など) (FX)
- 音声認識ソフトの社内展開による聴覚障がい者のコミュニケーション支援 (FX)

【目標】介護離職率、出産・育児離職者ゼロの実現

- 育児休職明けの社員とその上長に対して円滑な復職を促進・支援するセミナーを開催 (FF)
- 介護離職防止に向けた専門家によるセミナーの開催と、介護相談窓口の拡充 (FF)
- 育児介護向け在宅勤務制度の拡充 (育児制度対象の子供の年齢引き上げ、妊婦への制度拡大、育児介護利用における勤務場所の緩和) に向けた準備 (2019年4月導入) (FX)

【その他の主な活動】

- 海外大学の学生のインターンシップ受け入れ (FF)
- キャリア形成支援を目的とした女性営業職向け異業種交流会の実施 (FX)
- 管理職向け育児両立支援ガイドの展開 (FX) FH:富士フィルムホールディングス FF:富士フィルム FX:富士ゼロックス

▶関連資料・データ: **マネジメント編** P70 従業員の多様性推進と機会均等

今後の 活動&目標

- 生産性の高い、多様な働き方を実現するためにWork Style Innovation*のさらなる浸透と加速 (FF)
- 従業員の能力を最大限に引き出す勤務環境の実現、労務コンプライアンス強化の徹底及び業務効率化を重点にした働き方のさらなる改革と浸透 (FX)

*Work Style Innovation (WSI): 富士フィルムが行う、多様な従業員一人ひとりが能力を発揮できる会社を目指し、自分の強みを持ち、効率的な働き方で成果を出す風土へ変革する活動

富士フィルムグループは、様々な属性や価値観の違いにとらわれず、従業員が互いの人格と個性を尊重し、受け入れ刺激しあうことで、新たな価値を生み出し、豊かな社会づ

くりにも貢献できると考え、多様な人材が活躍しやすい、強い組織であることを目指しています。2018年度は、出産・育児や介護などライフステージの変化に応じて柔軟に働ける